

第 5 回検討委員会（ 5 / 2 4 ） 主なご意見

主な意見	対応（案）
<p>現況調査・分析の補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用現況調査の分析において、建物の高さやボリューム、敷地情報などのデータ分析を示す必要があるのではないか ・p5 の人口推計が 10 年後の平成 37 年確認では長すぎるのではないか ・都心回帰が進む中、鉄道網だけではなく幹線道路の連携のあり方などを検討できないか ・生活道路網の細街路の拡幅整備の達成状況を図と総延長距離で見られると良い ・拠点の吸引力に関する情報がみられると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度地区全面施行後の容積率の充足状況などの分析を行い、次回（第 7 回）改定検討委員会で補足資料として提示する ・都市計画マスタープランの目標年次が 20 年後であること、また、改定が概ね 10 年ごとであることから平成 37 年の推計データを参考に行っている ・道路交通体系の方向性について、担当課と調整しながら、記載内容について整理する ・整備の総延長距離は約 35.16km（昭和 62 年度～平成 28 年度） ・整備済分布図の作成が難しい場合でも、これまで積み上げてきた実績を分かりやすく表現する ・鉄道乗降客数、アンケート結果などから読み取れる資料を次回（第 7 回）改定検討委員会で補足資料として提示する
<p>前回都市マスからの変化・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの区の施策（高度地区・密集市街地・地区計画など）を図で示して頂きたい ・評価の表現は、前回マスタープランを基にした表現では、方針との重複も多く構造がつかみにくなる。各分野の方針部分で「評価」の次に「方針」という構成とすればよい。「継続」事業ではどこまでできており継続となるのか表記してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章だけでなく、図表を用いてビジュアルに表現するよう工夫する。次回（第 7 回）以降の改定検討委員会で補足資料として提示する ・各分野別方針の冒頭に総括的な評価を示す。また、項目別の評価は文章表現の中で表現することを基本とする ・「継続」事業の達成状況について評価できるものは記載する

<p>都市像の表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 年前の改定からの変化をよしとするのか、別の方向にもっていくのか等もう少し踏み込んで目指す都市像を考えがほうがよい。またソフトをどうみていくか、今の人口構成をふまえて考察しなければならない ・ p22、23 の都市像と p33 からの説明と違う所がある。書き方をそろえた方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの変化に関する評価やこれからの課題について、第2回資料2にて整理した上で、都市像を検討した ・ ソフト面における取組みの方向性などは「 推進方針」において整理する ・ 現況調査・分析の補足結果を踏まえ、都市像を説明する ・ そろえた書き方とする
<p>都市像とまちづくりの担い手について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりを実現する組織がなくなっている ・ 都市像に「人」を前面に出すべき。区民と中間支援組織がやることなどいろいろある ・ 小さな単位のまちづくりの活動実績を示すことが重要ではないか ・ 若い人たちの地域参画を増やすには、学校関連、青少年指導をしている人たちなど「子ども」を共通の課題で集めれば新しい住民も参加しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市像3、都市像4に「ひととのつながり」や「地域コミュニティ」について触れている。都市像を説明する文章や「 推進方針」において、まちづくり活動の担い手のあり方等の記載を検討する ・ まちづくり団体等の活動実績について紹介スペース（コラム等）を検討する ・ 「 推進方針」の具体的な方策の一つとして記載を検討する
<p>地域別対応策の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口、土地利用はエリアごとに顕著な差がある（にもかかわらず）、これまでの施策は全区一律のため対策が必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域別構想において、地域ごとの人口、土地利用の変化や課題を整理する。また、ワークショップでの区民等の意見を踏まえ、地域の実情に合わせたまちづくりの方針を掲げる

<p>その他、分野別構想への個別提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大災害時の事前対応策は、今の復興準備計画を超えた本質的な議論が重要である ・防犯等の必要性なども総合的な計画があった方がよい。町会の力が弱まると対応できなくなることが懸念される ・シティプロモーションでは、公園整備・管理、フィルムコミッションなどをやるとよい ・生活インフラでは物流トラックの駐車で混乱があるようだ。区道の中で対応できないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの担当課と協議の上、都市計画マスタープランに反映すべき内容を整理する
<p>総括、まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野毎に色々と考えられているが、担い手の話、地域力の話など横串で考えることが重要。新しい人が入ってきて、いろいろなコミュニティを形成し、そこにSNSの世界があること等を踏まえることも重要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者で共有、連携しながら、一体的に取組めるよう「推進方針」において考え方を整理する